

リスクモンスター株式会社

(東証スタンダード: 3768)

2023年3月期第2四半期 決算補足資料



2022年11月16日

1. 2023年3月期第2四半期 重点施策・取り組み (P.2)	11. 企業理念と長期ビジョン (P.17)
2. 決算サマリー (P.3)	12. 『第7次中期経営計画(2021年～2023年度)』全体的な基本方針 (P.18)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	13. 『第7次中期経営計画(2021年～2023年度)』事業別の基本方針 (P.19)
4. ビジネス分類別 業績 (P.5)	14. リスクモンスターグループのビジネスモデル (P.20)
(1) 法人会員向けビジネス 業績 (P.6)	15. DX(デジタルトランスフォーメーション)への取り組み (P.21)
(1) 法人会員向けビジネス ①与信管理サービス 業績 (P.7)	16. サイバックスUniv. システムにおける個人情報漏えいについて (P.22)
(1) 法人会員向けビジネス ②ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	17. 株主のための施策 ① (P.23)
(1) 法人会員向けビジネス ③教育関連 業績 (P.9)	18. 株主のための施策 ② (P.24)
(2) その他ビジネス ④BPOサービスを含むその他ビジネス 業績 (P.10)	19. 株主のための施策 ③ (P.25)
5. 会員数推移(四半期) (P.11)	IRに関するお問合せ (P.26)
6. 連結貸借対照表 (P.12)	【補足】 リスモンAPIサービス『反社APIサービス』のご紹介(P.27)
7. 連結キャッシュ・フロー (P.13)	【補足】 インボイス制度に対するサービス、取り組みのご紹介(P.28)
8. 2023年3月期 業績予想 (P.14)	【補足】 J-MOTTO 『Microsoft Teams』と連携(P.29)
9. RM財務格付による財務分析 ① (P.15)	【補足】 利墨(上海)商務信息咨询有限公司 設立10周年(P.30)
10. RM財務格付による財務分析 ② (P.16)	【補足】 リスモン書籍のご紹介(P.31)

1Q

2Q

リリース

- ▶ 中国でも日本企業の「RM格付」の活用ができる新サービス「日本企業情報RMナビ」提供開始(4月)
- ▶ 与信先モニタリングサービス「リスクモンスター見舞金」の見舞金金額を2倍へ引き上げ、また対象のRM格付を拡大(4月)
- ▶ 「取引先リスク管理Q&A(第2版)」出版(5月)
- ▶ 「業種別審査ノートVol. 1(第3編)」出版(5月)
- ▶ リスモンAPIサービス「反社APIサービス」提供開始(6月)
- ▶ システム構築・運用管理、ブロックチェーン関連技術サービスを提供するアイクラフト株式会社への資本参加(6月)
- ▶ 「J-MOTTO(ジェイモット)」サービスが「IT導入補助金2022」に認定(6月)
- ▶ eラーニング 提供開始したシリーズ、コース
 - ・「仕事の課題解決のために「情報収集と情報整理」」、「受け手の納得度を高める「SDS法・PREP法」等6コース
 - ・「基礎から学ぶインサイダー取引」「基礎から学ぶ下請法」

- ▶ “情報セキュリティ、コンプライアンス、ハラスメント”に関するeラーニングの英語版・中国版を提供開始(9月)
- ▶ クラウドサービスセキュリティ国際規格「ISO/IEC27017:2015」認証取得(9月)
- ▶ 利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)、設立10周年(9月)
- ▶ 「J-MOTTO(ジェイモット)」グループウェアのスケジュールと「Microsoft Teams」のカレンダー連携機能を提供開始(9月)
- ▶ eラーニング 提供開始したシリーズ、コース
 - ・「基礎から学ぶ反社取引管理(基礎編)」
 - ・「最近の若者の動向と新入社員との向き合い方講座」、「ことづくり・ものづくり」等7コース
 - ・「基礎から学ぶ反社取引管理(実務編)」、「基礎から学ぶ反社取引管理(総合版)」
 - ・「ライフシフト講座」、「統計とデータ分析キホンのキ」等29コース
 - ・「社会人なら知っておきたい著作権講座」
 - ・「基礎から学ぶクライシスマネジメント」、「基礎から学ぶリスクマネジメント」

リスモン調べ

調査結果・与信コラム 発表

- ▶ 「離婚したくなる夫・妻の仕事」(4月)
- ▶ 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」(5月)
- ▶ 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」(6月)
- ▶ 「隣の芝生(企業)は青い」(6月)
- ▶ 「20年ぶりの円安進行に関する影響」(6月)
- ▶ 「週休3日制に関する意識」(6月)

リスモン調べ 動画

- ▶ 「離婚したくなる夫・妻の仕事調査」(4月)
- ▶ 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業ランキング」(5月)
- ▶ 「週休3日制に関する意識調査」(6月)

調査結果・与信コラム 発表

- ▶ 「アフターコロナの働き方」(7月)
- ▶ 「DX認定企業」(7月)
- ▶ 「FIREへの憧れ」(8月)
- ▶ 「金持ち企業ランキング」(8月)

リスモン調べ 動画

- ▶ 「隣の芝生(企業)は青い調査」(7月)
- ▶ 「FIREへの憧れ調査」(8月)
- ▶ 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」(9月)

業界レポート

- ▶ 「業務用機械器具製造業」(4月)
- ▶ 「不動産賃貸・管理業」(5月)
- ▶ 「医療業」(6月)

- ▶ 「非鉄金属製造業」(7月)
- ▶ 「情報サービス業」(8月)
- ▶ 「化学工業」(9月)

DX(デジタルトランスフォーメーション)への取り組み

具体的なクライアントへのDX化支援サービス

中計

- ▶ 「AI等を活用し、自社保有データの分析推進によるサービス開発と業務効率化」
- ▶ 「クライアントへのDX化支援サービスの展開」
- ▶ 「デジタルプラットフォーム活用による業務効率化とテレワーク推進」

- ▶ リスモンAPIサービス「反社APIサービス」(6月)
- ▶ リスモンAPIサービスがSaaS連携業務自動化プラットフォーム「ActRecipe」と連携開始(10月)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増 減	前期比
売上高	1,784,143 千円	1,890,072 千円	105,929 千円	105.9 %
営業利益	353,673 千円	321,576 千円	△32,097 千円	90.9 %
経常利益	376,953 千円	301,418 千円	△75,534 千円	80.0 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	249,447 千円	198,492 千円	△50,955 千円	79.6 %
1株当たり四半期純利益(EPS)	33.39 円	26.19 円	△7.2 円	78.4 %
会員数	14,060 ID	13,826 ID	△234 ID	98.3 %
自己資本四半期純利益率(ROE)	4.6 %	3.4 %	△1.2 ポイント	—

(注) ROEは第2四半期(6か月間)の業績で算出しております。

◆ 売上高

ビジネスポータルサイト事業、BPOサービス事業、その他サービスが順調であったこと等から、連結の売上高は、前期を上回りました。

◆ 利益

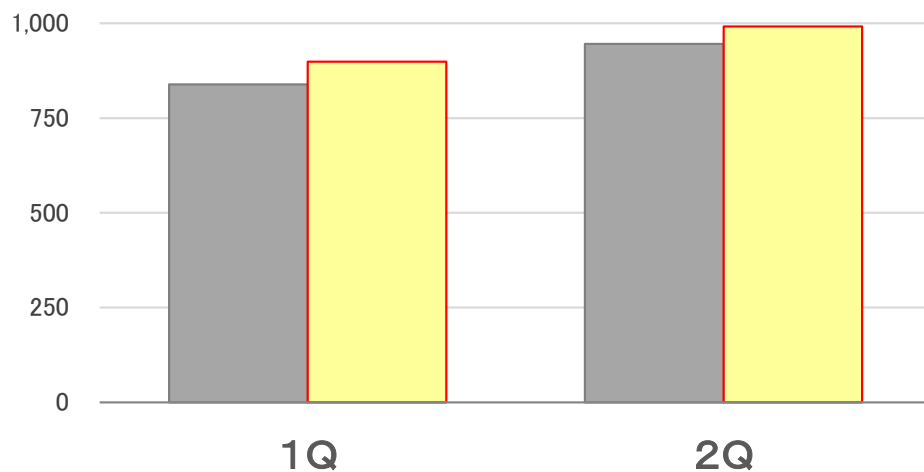
サービスシステム増強費用、サービス提供強化のための人件費及びマーケティング費等の増加、与信管理サービス事業及び教育関連事業の売上高減少等により、利益は前期を下回りました。

(単位：千円)

2023年3月期	1Q	2Q	累計	前期比
売上高	898,424	991,648	1,890,072	105.9%
営業利益	131,133	190,442	321,576	90.9%
2022年3月期	1Q	2Q	累計	前期比
売上高	838,697	945,446	1,784,143	100.9%
営業利益	135,034	218,639	353,673	80.6%

売上高

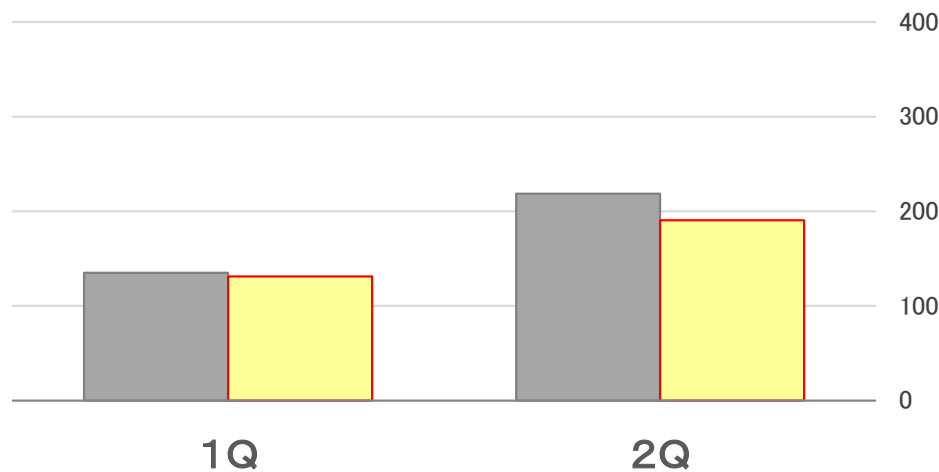
(単位：百万円)



■ 2022年3月期 □ 2023年3月期

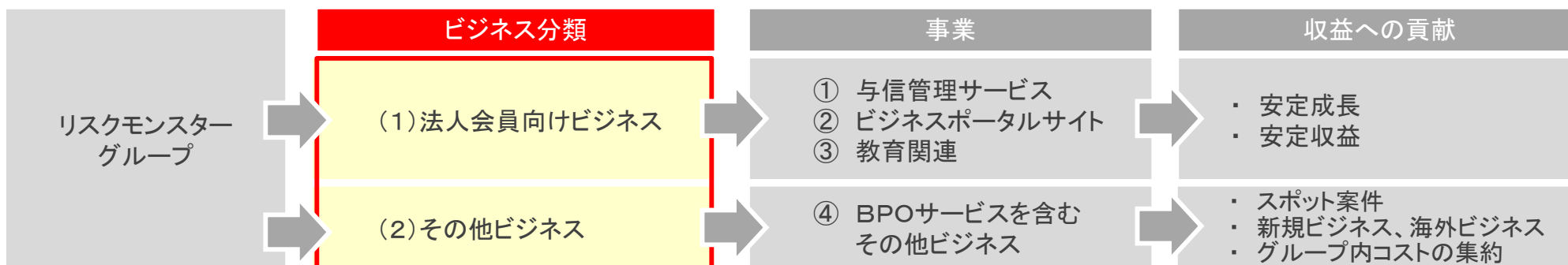
営業利益

(単位：百万円)



■ 2022年3月期 □ 2023年3月期

リスクモンスターグループ ビジネスモデル



(単位：千円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	前期比
(1) 法人会員向けビジネス	1,589,045	1,496,725	△92,320	94.2%
(2) その他ビジネス	314,358	578,447	264,089	184.0%
売上高 計	1,903,404	2,075,173	171,769	109.0%
(1) 法人会員向けビジネス	406,689	376,548	△30,140	92.6%
(2) その他ビジネス	5,735	30,722	24,987	535.6%
利益 計	412,425	407,271	△5,153	98.8%

(注) 売上高はサービス間取引消去前の売上高で記載

リスクモンスターグループ ビジネスモデル



(単位：千円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	前期比
①与信管理サービス	1,159,726	1,064,563	△95,163	91.8%
②ビジネスポータルサイト	300,112	309,458	9,346	103.1%
③教育関連	129,205	122,703	△6,502	95.0%
法人会員向けビジネス売上高計	1,589,045	1,496,725	△92,320	94.2%
①与信管理サービス	248,310	228,565	△19,745	92.0%
②ビジネスポータルサイト	119,072	124,337	5,264	104.4%
③教育関連	39,305	23,646	△15,659	60.2%
法人会員向けビジネス利益計	406,689	376,548	△30,140	92.6%

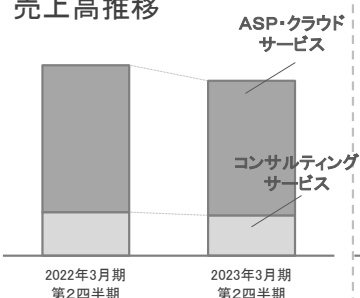
会員数 (ID)	13,667	13,375	△292	97.9%
-----------------	--------	--------	------	-------

(単位 : 千円)

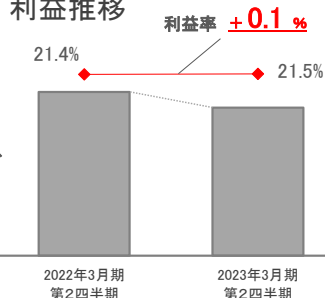
	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	894,695	818,873	△75,821	91.5%
コンサルティングサービス	265,031	245,689	△19,341	92.7%
売上高 計	1,159,726	1,064,563	△95,163	91.8%
利益	248,310	228,565	△19,745	92.0%
利益率	21.4%	21.5%	0.1 ポイント	—
会員数 (ID) (注)	7,043	7,230	187	102.7%

(注) サービス相互連携を行う提携会員を含む

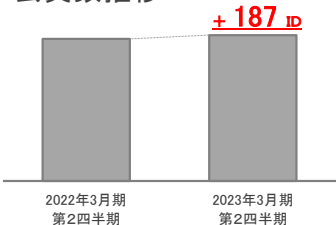
売上高推移



利益推移



会員数推移



◆ 売上高

ASP・クラウドサービスは、入会数は予定通り増加しているものの、前期に比べ退会数が増加したこと、一部のサービスが終了になったこと、また、サービスリニューアルに伴うキャンペーンにより割引提供を実施したため、前期を下回りました。

コンサルティングサービスは、反社チェックを含む企業情報代行取得が順調だったものの、サブスク契約への移行によりASP・クラウドサービスの利用に移行したこと、前期は取引先信用情報管理の短期間モニタリングサービス等の受注があったため、前期を下回りました。

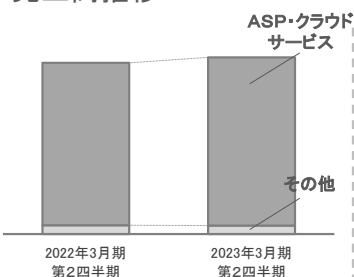
◆ 利益

独自データベースを主としたサービス移行に伴い企業情報取得に係る原価は減少したものの、売上高が減少したこと、またサービスシステム増強費用、サービス提供強化のための人件費及びマーケティング費等が増加したため、前期を下回りました。

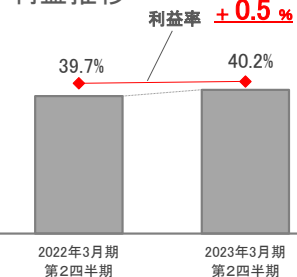
(単位 : 千円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	282,402	292,322	9,920	103.5%
その他	17,710	17,136	△574	96.8%
売上高 計	300,112	309,458	9,346	103.1%
利益	119,072	124,337	5,264	104.4%
利益率	39.7%	40.2%	0.5 ポイント	—
会員数 (ID)	3,147	3,127	△20	99.4%
ユーザー数	144,176	145,163	987	100.7%

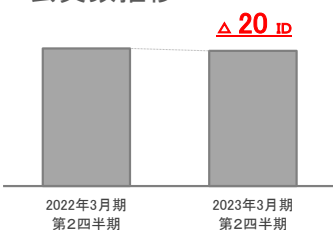
売上高推移



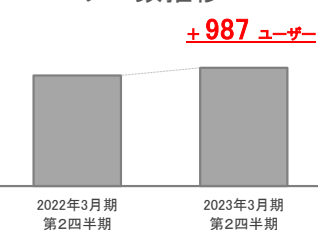
利益推移



会員数推移



ユーザー数推移



◆ 売上高

大容量プランへ移行した会員が増加したため、グループウェアが堅調に推移し、売上高は前期を上回りました。

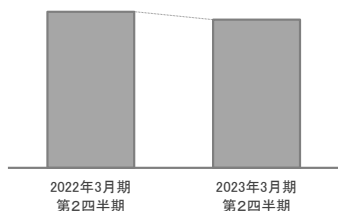
◆ 利益

売上高が堅調だったことに伴い前期を上回りました。

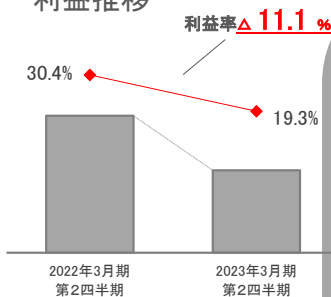
(単位 : 千円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	前期比
売上高 計	129,205	122,703	△6,502	95.0%
利益	39,305	23,646	△15,659	60.2%
利益率	30.4%	19.3%	△11.1ポイント	—
会員数(ID)	3,477	3,018	△459	86.8%

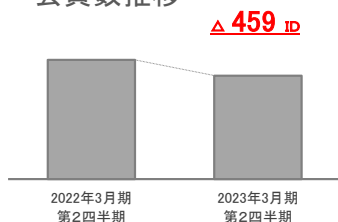
売上高推移



利益推移



会員数推移



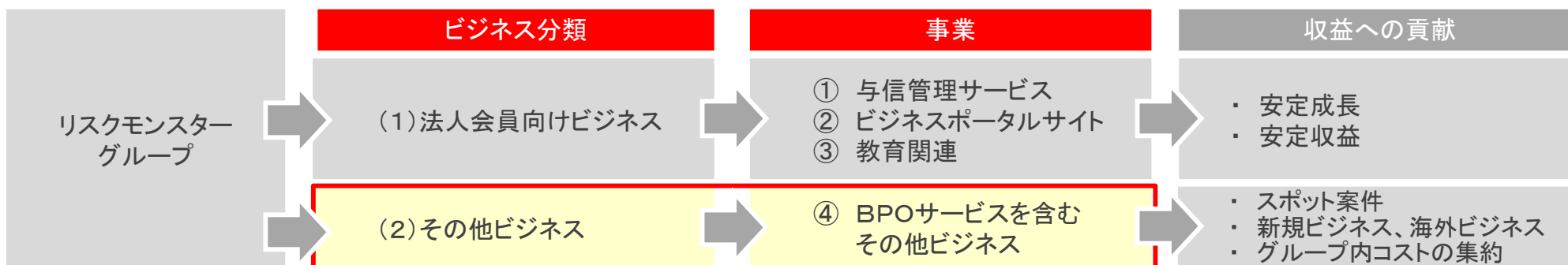
◆ 売上高

定額制サービスは会員数が増加し利用料が積み上がり、会員あたり単価も増加したものの、従量制サービスにつきましては、代理店のサービス提供終了による影響及び利用が少なかった会員数が減少したこと、サイバックスUniv. システム連携用サーバーの個人情報漏えいに係る対応のため、9月までの約3ヶ月間、新規の営業活動を抑制していたこと等から、売上高は前期を下回りました。

◆ 利益

サービス充実のための提供コンテンツ増加により原価が増加したことや、サイバックスUniv. システム連携用サーバーの個人情報漏えいに係る対応コストが発生したため、前期を下回りました。

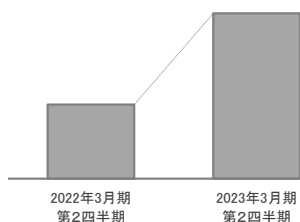
リスクモンスターグループ ビジネスモデル



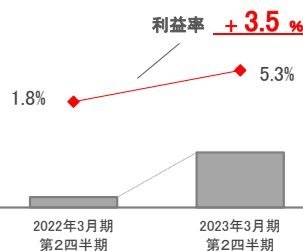
(単位：千円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	前期比
その他ビジネス売上高計	314,358	578,447	264,089	184.0%
その他ビジネス利益計	5,735	30,722	24,987	535.6%
利益率	1.8%	5.3%	3.5ポイント	—

売上高推移



利益推移



◆ 売上高

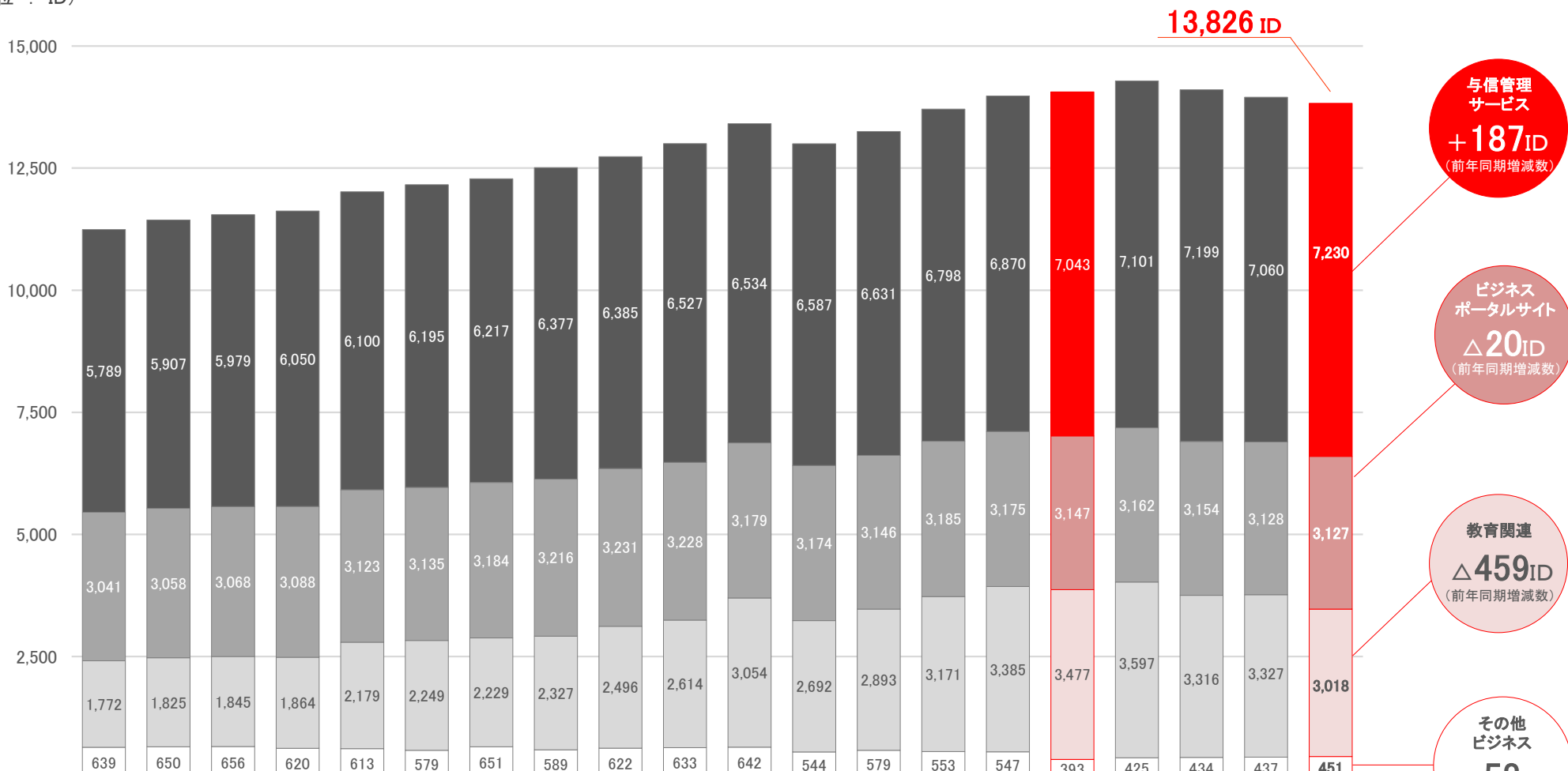
BPOサービス事業は、株式会社シップスを前第2四半期末に連結子会社とし、前第3四半期から同社の損益を取り込んでおり、また、与信管理サービス事業の独自データベース増強などグループのコスト削減に貢献するサービス提供が増加したことから、売上高は前期を大きく上回りました。

グループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)は、スポットのコンサルティングサービスを受注したこと、また、グループのコスト削減を担うオフショア開発が順調に推移し、円安の影響も受け、売上高は前期を大きく上回りました。

◆ 利益

BPOサービス事業、利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)ともに、売上高が増加したことに伴い、利益も前期を大きく上回りました。

(単位 : ID)



会員数計(注)	2018年3月期		2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期	
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
	11,241	11,440	11,548	11,622	12,015	12,158	12,281	12,509	12,734	13,002	13,409	12,997	13,249	13,707	13,977	14,060	14,285	14,103	13,952	13,826

(注) 重複登録している会員を含む

(単位：千円)

	2022年3月期	2023年3月期 第2四半期	増減額	前期比
流動資産	2,734,080	2,748,289	14,209	100.5%
固定資産	4,205,973	4,015,858	△190,114	95.5%
資産合計	6,940,053	6,764,148	△175,904	97.5%
流動負債	579,424	543,705	△35,719	93.8%
固定負債	465,800	360,585	△105,214	77.4%
負債合計	1,045,225	904,291	△140,934	86.5%
純資産	5,894,827	5,859,857	△34,970	99.4%
負債・純資産合計	6,940,053	6,764,148	△175,904	97.5%
自己資本比率	84.1%	85.8%	—	—
1株当たり純資産(BPS)	774.16円	761.19円	△12.97円	98.3%

自己資本比率は85.8%と高水準を維持しております。

(単位：千円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	前期比
営業活動	144,111	419,816	275,704	291.3%
投資活動	△214,720	△333,559	△118,839	155.3%
財務活動	△136,400	△141,062	△4,661	103.4%
現金に係る換算差額	△447	△436	11	97.4%
現金増減額	△207,456	△55,241	152,215	26.6%
現金期末残高	2,236,272	1,996,985	△239,287	89.3%

◆ 営業活動

税金等調整前四半期純利益	297,516
減価償却費	251,100
売上債権の増加額	△31,027
未払金の減少額	△84,750
法人税等の支払額	△68,345
法人税等の還付額	11,628

◆ 投資活動

有形固定資産の取得による支出	△15,347
無形固定資産の取得による支出	△379,979
投資有価証券の売却による収入	47,797

◆ 財務活動

配当金の支払額	△109,049
長期借入金の返済による支出	△30,080

(単位 : 百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2023年3月期 予想	差 額	進捗率
売上高	1,890	4,000	2,109	47.3%
営業利益	321	690	368	46.6%
経常利益	301	700	398	43.1%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	198	465	266	42.7%
1株当たり 当期(四半期)純利益(EPS)	26.19円	61.18円	34.99円	42.8%

新型コロナウイルス感染症の影響については、ウィズコロナの社会に移行していくことによって経済活動が緩やかに回復していくことを前提にしております。また、当社の売上の7割以上が、法人会員向けビジネスとなっており、下振れリスクが比較的低いことを前提に考えております。

与信管理サービス事業は、株式会社東京商工リサーチとの業務提携解消を理由として退会数が前期に比べ増加いたしました。退会数は当第2四半期までは高止まりで推移しましたが、第3四半期以降は徐々に収束するものと見込んでおり、新規の入会数は予定通り増加しております。

また、一部のサービスが終了になったこと、リニューアルキャンペーンとして期間限定で一部サービスの割引提供もあることから売上を押し下げているものの、企業の信用力を表す指標「RM格付」及び格付情報と同時に取得できる反社チェックヒートマップの利用件数は堅調に推移しております。

教育関連事業につきましては、6月に発覚した個人情報漏えいに係る対応のため、9月までの約3ヶ月間、新規の営業活動ができなかったものの、定額制サービスは会員数が増加しており利用料が積み上がっております。今後も引き続き独自データベースのさらなる拡充のために積極的な投資の継続、会員企業の業務効率化やDX推進に貢献するサービスを提供する方針であります。

業務提携解消により、独自データベースの活用や新たなサービス開発において自由度が高まり、新たな挑戦ができる事業環境となったため、長期ビジョン「RismonG-30」(2021~2025年度)で掲げた独自データベースを活用した成長戦略を推進すべく、今後はより積極的なサービス展開、営業活動、業務提携を実現し、当社グループの業績及び企業価値向上につなげてまいります。

※ なお、この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後、市場環境の変化等により業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

リスクモンスターグループ の評価 (東証スタンダード:3768)

【RM財務格付】

2023年3月期
第2四半期



【RM財務格付定義】

- a格 財務内容は非常に良好です。
- b格 財務内容は良好です。
- c格 財務内容は概ね良好です。
- d格 財務内容に若干の懸念があります。
- e格 財務内容に懸念があります。
- f格 財務内容に大きな懸念があります。

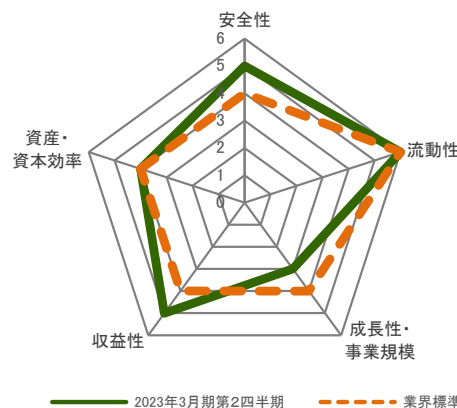
【想定倒産確率】

- a格 … 0.1%
- b格 … 0.5%
- c格 … 1.0%
- d格 … 2.0%
- e格 … 3.0%
- f格 … 6.0%

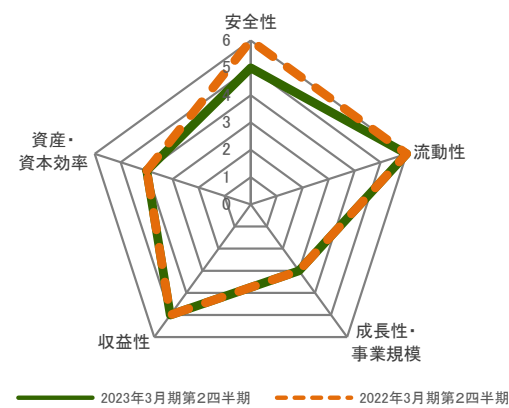
【RM財務格付履歴】

2023年3月期 第2四半期	2022年3月期	2021年3月期	2020年3月期
a	a	a	a
2019年3月期	2018年3月期	2017年3月期	2016年3月期
a	a	a	a
2015年3月期	2014年3月期	2013年3月期	2012年3月期
a	a	a	a

レーダーチャート(業界標準比較)



レーダーチャート(過去データ比較)



安全性	2023年3月期 第2四半期	☆☆☆☆☆
	2022年3月期 第2四半期	☆☆☆☆☆
自己資本比率		☆☆☆☆☆
実質自己資本比率		☆☆☆☆☆
借入金利率		☆☆☆☆
借入返済年数		☆☆☆☆☆

収益性	2023年3月期 第2四半期	☆☆☆☆☆
	2022年3月期 第2四半期	☆☆☆☆☆
売上高経常利益率		☆☆☆☆☆
経常収支比率		☆☆☆☆☆
ROA(総資産利益率)		☆☆☆☆

資産・ 資本効率	2023年3月期 第2四半期	☆☆☆☆
	2022年3月期 第2四半期	☆☆☆☆
売掛債権回転期間		☆☆☆☆
棚卸資産回転期間		☆☆☆☆☆
総資産回転率		☆☆

流動性	2023年3月期 第2四半期	☆☆☆☆☆☆
	2022年3月期 第2四半期	☆☆☆☆☆☆
流動比率		☆☆☆☆☆☆
当座比率		☆☆☆☆☆☆
現預金回転期間		☆☆☆☆☆☆
手形割引率		

成長性・ 事業規模	2023年3月期 第2四半期	☆☆☆
	2022年3月期 第2四半期	☆☆☆
売上高増減率		☆☆☆☆
売上高規模		☆☆☆☆
経常利益増減率		☆

※実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※☆☆☆☆☆☆(良い)~☆(悪い)にて表示しています。
★が表示されない項目は、評価対象外です。
評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

※ROAおよび総資産回転率は、それぞれ連結業績予想値で算出しています。

総合評価	財政面および収支面は良好で、高い支払能力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本蓄積は十分な水準にあり、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、資金余力が見込まれることから、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、高い収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しているものの、収益力が低下しているため、収益基盤にやや不安があります。
資産・資本効率	資産効率がやや低水準にあるものの、資産内容は概ね健全であるため、大きな不安はありません。

当社グループの2023年3月期第2半期連結決算におけるRM財務格付は、a～fの6段階中、最高位の「a」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、業績が堅調に推移したものの、その他有価証券評価差額金の減少を主因に、純資産額は2022年3月期に比べ、35百万円の減少となった。しかし、自己資本比率としては、前期84.1%から85.8%に1.7ポイント上昇し、引き続き高い水準を維持している。

借入金に関しては、2022年3月期から30百万円の減少となり、事業収益を償還原資とみた場合の借入返済年数も1年以内に収まっているなど、安全性に関して依然として非常に高い水準となっている。

流動性に関しては、現預金は2022年3月期から55百万円の減少となったが、流動比率505.5%（前期比33.6ポイント上昇）や当座比率481.4%（前期比25.5ポイント上昇）においては上昇基調を継続しており、現預金残高2,098百万円は月商の6.7か月分に相当する点を考慮すれば、十分な資金繰り余力を有しているといえる。

【損益計算書】

連結売上高においては、主力の与信管理サービス事業の売上高が前年同期比91.8%と伸び悩み、法人会員向けビジネス売上高合計が前年同期から92百万円減少したものの、その他ビジネスにおいて、前年同期比184.0%と伸長したことで、全体では、前年同期比105.9%の増収推移となっている。

また、利益面においては、独自データベースを主としたサービス移行に伴い企業情報取得に係る原価は減少したものの、サービスシステム増強費用やサービス提供強化のための人件費等が増加したことで、売上高総利益率が55.5%（前年同期）から54.1%（当期）へ低下し、それに伴い売上高経常利益率や売上高四半期純利益率でも利益率の低下を余儀なくされたが、利益率としては依然として高い水準を有しており、今後も引き続き収益確保に懸念は少ないものと考えられる。

通期連結業績予想においては、現状で業績予想修正はなく、前期に引き続き安定的な推移が見込まれる。

リスクモンスター企業理念



顧客を大切にして共に繁栄しよう
プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう

2021年度～2025年度 長期ビジョン

RismonG-30

キーメッセージ

新しいスタンダードを提供する

社会に有用な付加価値のある信頼されるサービスを提供

信用を判断するだけでなく信用を生み出す

公正で安心できる仕組み作りの役割を担う

「第7次 中期経営計画(2021年～2023年度)」策定

積極的に付加価値を高める投資を行う。ROE 7%以上 を持続させる。

① 事業規模

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大し、安定的な事業規模を目指す。

② 新規事業投資 業務提携

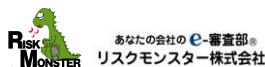
シナジー効果があり、プロフェッショナルなノウハウと顧客基盤を持つ企業を対象とし、長期的なビジネスパートナーとしての関係構築を目的に、アップセル・クロスセルにつながる投資、付加価値を高める投資を、積極的に実行する。

③ 株主還元

配当性向30%を目標とし、継続的かつ安定的な配当を目指す。

※ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化、または想定以上に深刻化した場合に備え、継続的かつ安定的な配当の実施を優先したうえで、不測の事態に備えるため、十分な手許現金の確保や内部留保も検討してまいります。

与信管理サービス事業



- 独自データベースを活用したサービスの強化
- 独自データベースを活用したDX化支援サービス
- サブスク化等積極的な価格戦略
- 更なるAIの活用
- スマホアプリの強化

BPOサービス事業



- VERIFY機能を向上
- 反社チェックサービス強化
- AIを活用したサービスの強化
- 新たな海外センター構築
- グループサービスとの連携強化

教育関連事業



- コンテンツ数アップと質の向上
- フリーランスの講師の活用と質の向上
- 受講生からのフィードバックを積極的に反映

海外事業(中国(上海))



- 中国独自サービスの継続的開発
- グループ連携強化
- オフショア開発の品質向上

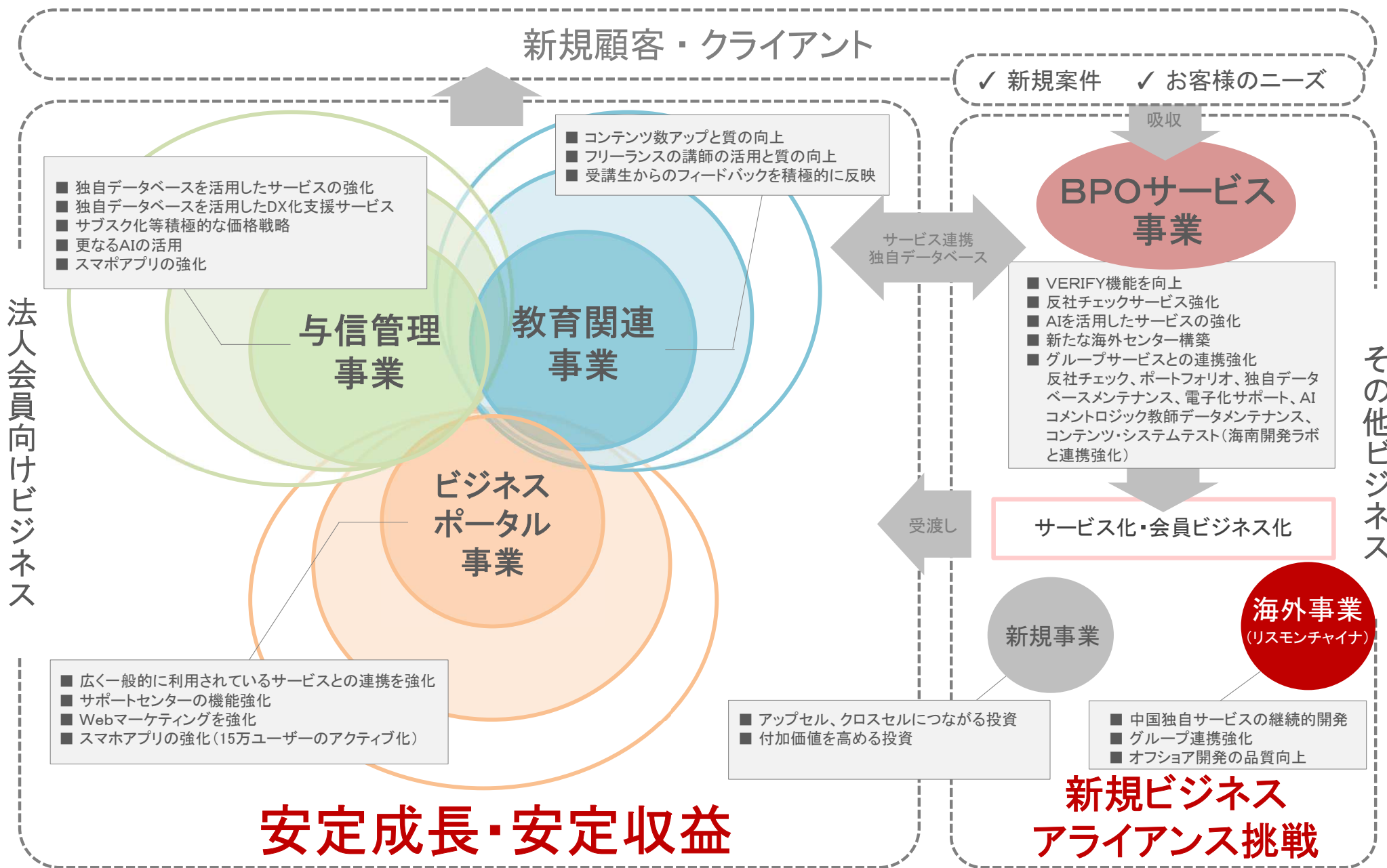
ビジネスポータルサイト事業



- 広く一般的に利用されているサービスとの連携を強化
- サポートセンターの機能強化
- Webマーケティングを強化
- スマホアプリの強化(15万ユーザーのアクティブ化)

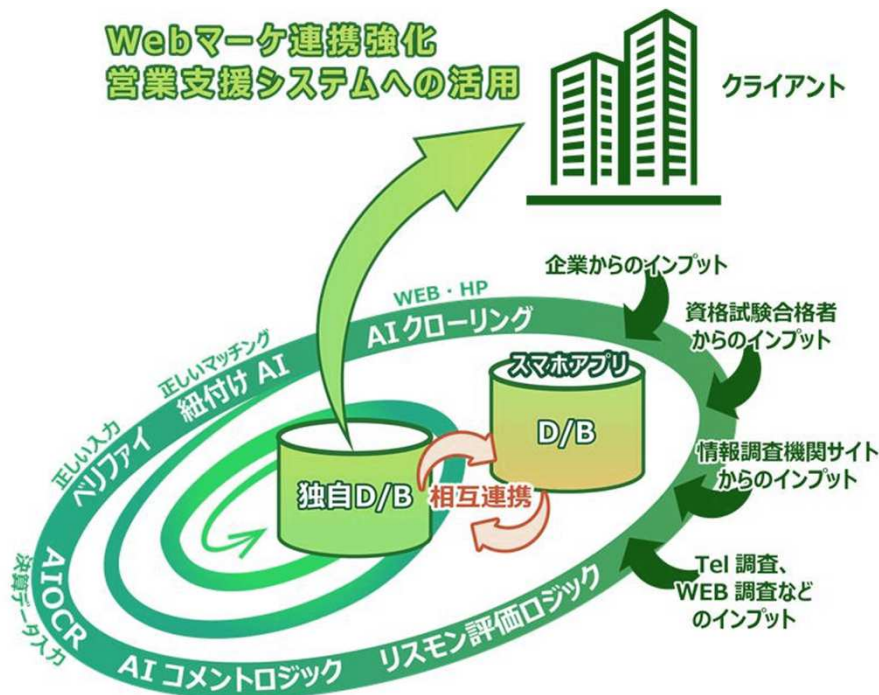
新規事業

- アップセル、クロスセルにつながる投資
- 付加価値を高める投資



当社は、事業を取り巻く厳しい環境を踏まえ、「新しいスタンダードを提供する」をキーワードに、長期ビジョン『RismonG-30』を制定し、この目標を実現するために、「DX(デジタルトランスフォーメーション)への取組」を発信し、以下の取り組みを進めております。

- AI等を活用し、自社保有データの分析推進によるサービス開発と業務効率化
- クライアントへのDX化支援サービスの展開
- デジタルプラットフォーム活用による業務効率化とテレワーク推進



2022年3月に経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を取得

具体的なクライアントへのDX化支援サービスとして、以下のサービスをリリースしました。

- ▶ リスモンAPIサービス「反社APIサービス」(6月)
- ▶ リスモンAPIサービス、SaaS連携業務自動化プラットフォーム「ActRecipe」と連携開始(10月)

2022年7月5日および2022年9月16日に当社ホームページにて公表いたしました、サイバックスUniv. システムにおける個人情報漏えいに関しまして、お客様および関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。本件を重く受け止め、より一層の体制強化と、再発防止に向けた取り組みを行ってまいります。

■ 事案の概要 ※詳細につきましては、2022年7月5日に公表いたしました「サイバックス Univ. システム連携用サーバーの個人情報漏えいについて」をご参照ください。

サイバックス Univ. システム連携用サーバーのページ情報の一部が、検索エンジン(Google 等)に表示され、一般の外部ユーザーからアクセス可能な状態となっております。

■ 再発防止策 ※詳細につきましては、2022年9月16日に公表いたしました「サイバックス Univ. システム連携用サーバーの個人情報漏えいについて(最終報)」をご参照ください。

- ・サーバー設定変更時の確認を複数人でレビューするように社内手順を明確にし、運用を開始いたしました。
- ・セキュリティマネジメントシステムの運用単位を、サブシステム(サーバー)単位で細分化し社内の各種台帳を見直し、運用を開始いたしました。
- ・インターネット接続の可能性がある全てのサーバーに対して外部によるセキュリティ診断を実施し、同様の設定漏れが無いこと、緊急を要する脆弱性がないことを確認いたしました。引き続き、クラウド設定診断や誤設定検知対応を実施いたします。

■ 役員報酬の一部自主返上 ※詳細につきましては、2022年9月16日に公表いたしました「役員報酬の一部自主返上に関するお知らせ」をご参照ください。

本件の経営責任を明確にするため、当社代表取締役社長より役員報酬の一部自主返上の申し出を受け、2022年9月から1カ月間、役員報酬月額額の30%の自主返上を決定いたしました。

■ クラウドサービスセキュリティ国際規格「ISO/IEC27017:2015」認証取得

当社は、インターネット経由でサービスを提供する性質から、情報セキュリティ上の安全性維持を重要課題として捉え、外部認証機関に認められたマネジメントシステムを積極的に取得し、サービス品質の向上に取り組んでおります。

これまでに、個人情報保護マネジメントシステムに準拠した体制を構築している事業者が付与される「プライバシーマーク」の認証取得、ITサービスマネジメントシステム「ISO20000」、情報セキュリティマネジメントシステム「ISO27001」、品質マネジメントシステム「ISO9001」の認証を取得し、2022年9月、新たにクラウドセキュリティに関する国際規格「ISO27017」の認証を取得いたしました。

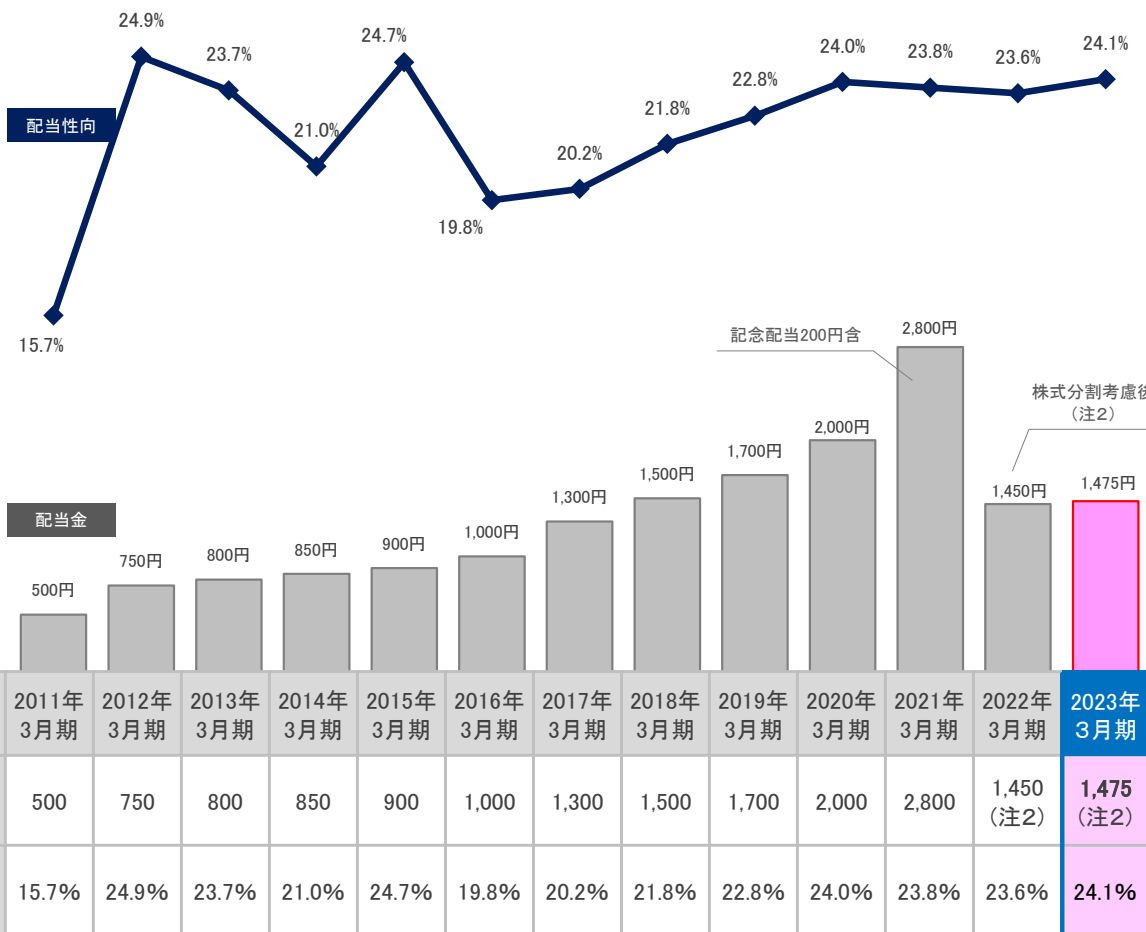
**2022年9月までに必要な対策を講じ収束いたしました。
更なる体制の強化と、サービス品質の向上を目指します。**

株主還元

2023年3月期は、当初の予定通り1単元当たり1,475円
(1株当たり14.75円)の増配予想です。

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指します。

当長期ビジョン中に配当性向30%を目標としておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化、または想定以上に深刻化した場合に備え、継続的かつ安定的な配当の実施を優先したうえで、不測の事態に備えるために、十分な手許現金の確保や内部留保も検討してまいります。



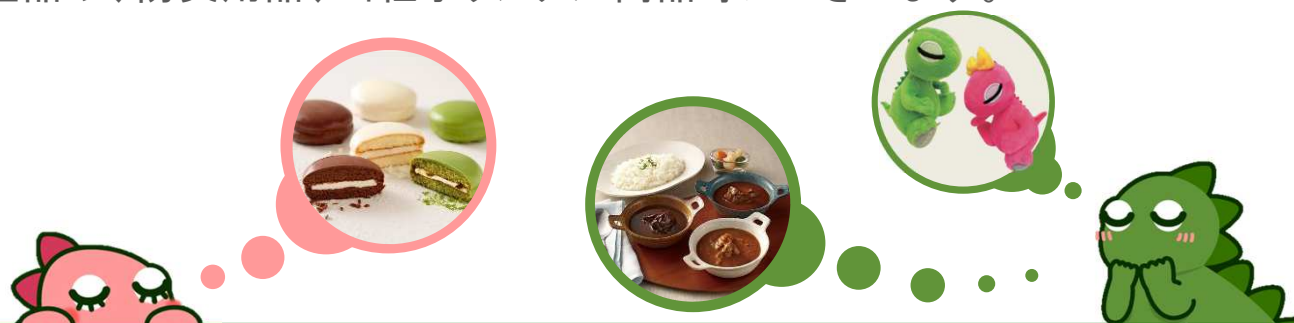
(注1) 1単元 = 100株

(注2) 当社は、2021年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これにより、2022年3月期および2023年3月期(予想)については、当該株式分割を考慮した額を記載しております。

株主優待制度

当社は、毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式を6ヶ月以上保有されており、かつ、300株(3单元)以上の当社株式を保有する株主様を対象とした株主優待制度を設けております。

また、当社株式を1年以上保有されており、かつ、600株(6单元)以上の当社株式を保有する株主様におかれましては、お好きな商品または寄付を1点お選びいただく株主優待となっております。優待商品につきましては、日本各地の名産品や、防災用品、当社オリジナル商品等がございます。



所有 株式数	保有期間			
	6ヶ月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上
300株以上	当社指定商品	当社指定商品		
600株以上		1,500円相当	2,000円相当	2,000円相当
1,000株以上		2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
2,000株以上		3,000円相当	4,000円相当	5,000円相当

第22回 定時株主総会

2022年6月23日に第22回定時株主総会を開催いたしました。

本年も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、株主総会のWEB配信を行いました。

事前質問も多くいただきましたこと、感謝申し上げます。
多くの株主様にご視聴いただき、また開催に際し、株主様にご協力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。



第22回 定時株主総会 配信動画

リスモンちゃんねる 配信

インターネットで閲覧できる「リスモンちゃんねる」では当社のIR動画を配信しております。

当社独自の調査「リスモン調べ」では、新しい働き方に関する調査結果等を動画で配信しております。

ソーシャルワーカーから「信用とはなにか？」を語っていただくインタビューシリーズ「リスモン信用研究所」や、お金に関する疑問を解決する「学校や会社では教えてくれないお金の話」、仕事での取引トラブルを紹介、解説する「THE解決！取引トラブル」の動画を公開しております。



< リスモンちゃんねる 2022夏 撮影の様子 >

IR動画



THE解決！取引トラブル
第9回「オンライン商談に潜む落とし穴」



第5回 リスモンpresents
学校や会社では教えてくれないお金の話
「クレジットカードって何であんなに種類があるの？」

PR動画 (リスモン調べ等)

お問い合わせ先

IRに関するお問い合わせ

(IR専用ダイヤル)

TEL : 03-6214-0352
FAX : 03-6214-0431
Mail : ir@riskmonster.co.jp

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

※ 実際の業績は、経済環境の変化や提供するサービスの動向等の様々な要因により将来の見通し等と異なる場合があります。



【会社名】

リスクモンスター株式会社
<https://www.riskmonster.co.jp>
<https://www.cybaxuniv.jp>

【所在地】

東京都中央区日本橋2-16-5
RMGビル

【連結子会社】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社
<https://www.j-motto.co.jp>
リスモン・マッスル・データ株式会社
日本アウトソース株式会社
<https://www.outsource.co.jp>
利墨(上海)商務信息咨询有限公司
<https://www.rismon.com.cn>
株式会社シップス
<https://www.ships-it.co.jp>

※ リスクモンスター株式会社は、2022年4月1日付で連結子会社であるサイバックス株式会社を吸収合併いたしました。

■ 取引先のコンプライアンスチェック効率化を支援

2022年6月8日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、リスモンAPIサービス「反社APIサービス」の提供を開始いたしました。

本サービスは、煩雑になりがちなコンプライアンスチェックの一元化を実現することができ、会員様の業務効率化やDX推進に貢献いたします。本サービスは、2021年5月23日より提供中の『反社チェックヒートマップ(正式版)』の一部を、リスモンAPIサービス上でご提供するものです。

当社から提供するAPI仕様書とIDを基に、会員企業様において連携システムを構築することで、リアルタイムに反社警戒情報などのコンプライアンスリスク件数を検索、取得し、自社システムに取り込むことができます。

また、『与信管理APIサービス』を合わせてご利用いただくことで、取引先の企業基礎情報も自社システムに取り込むことができます。コンプライアンスチェックと同時に、与信判断に必要な基礎情報も即時に確認することが可能となり、対象企業との取引可否判定を効率的に実施することができます。

■ 取得できるコンプライアンスリスク情報

3つの情報区分(反社警戒、事件事故、行政処分)と2つの法人・個人区分(商号、代表者)の3×2の合計6マスのそれぞれのヒット件数をご提供いたします。

反社APIサービス該当件数	商号	代表者
1. 反社警戒	0件	3件
2. 事件事故	0件	1件
3. 行政処分	5件	0件

■ 本サービスを利用したサービス事例



本サービスを利用した無料スマホアプリ『リスモンかんたんコンプラナビ』を2022年2月に提供開始しました。

商談前の企業概要の把握、および、反社チェックの1次スクリーニングツールとしてご活用いただけます。



リスモンかんたんコンプラナビ
詳細

当社では、インボイス制度に対応したサービス、取り組みを行っております。

■ 「適格請求書発行業者」登録状況確認サービス

取引先のリスト整備から登録状況確認まで、全て代行します。



■ リスモンちゃんねる

リスモン presents 学校や会社では教えてくれないお金の話
第6回「インボイス制度のこれだけは知っておきたい」



この番組は、誰もが普段感じているお金に関する疑問を解決する番組です。

今回のテーマは「インボイス制度のこれだけは知っておきたい」。

教えていただくのは、図解コラムニストとしてヤフーニュースなどで経済記事をわかりやすく執筆している増澤陸さんです。

■ J-MOTTOグループウェアのスケジュールからTeamsのカレンダーへ連携可能

2022年9月28日、グループウェアサービス「J-MOTTO(ジェイモット)」を展開するリスモン・ビジネス・ポータル株式会社は、J-MOTTOグループウェアのスケジュールをMicrosoft社提供の「Microsoft Teams」(以下「Teams」)のカレンダーへ連携する機能の提供を開始いたしました。

この連携機能を利用することにより、J-MOTTOのスケジュールに入れた会議や打ち合わせの予定を、自動でTeamsのカレンダーに反映させることができます。

これまでJ-MOTTOとTeamsのそれぞれに予定を入れる必要があったものを、J-MOTTOのスケジュールに入れるだけで良くなり、日々の予定登録の手間が大幅に削減されます。既にTeamsをご利用中のお客様でグループウェアをお探しの方や、J-MOTTOとTeamsのいずれもご利用中の方は、この機会にぜひご利用ください。

※Teamsの予定をJ-MOTTOのスケジュールに連携することはできません。

Teamsとのカレンダー連携機能の特長

- Teamsに連携したいスケジュールを選んで連携が可能。
- 登録先に複数人入れた予定は、Teamsの各利用者のカレンダーにも自動反映。
- J-MOTTOで登録した予定の色も保持。
Teams上でも予定が一目で分かる。

J-MOTTOと連携しているサービス

Teams以外にも、J-MOTTOグループウェアでは様々な他社製品との連携をご用意しております。

- HENNGE One
HENNGE Oneとのシングルサインオン、ログイン時の認証追加が可能
- Microsoft365
ユーザー情報一元化のほか、Outlookとのスケジュール連携が可能
- Google Workspace
Google Workspaceとのシングルサインオンが可能
- Googleカレンダー
J-MOTTOグループウェアのスケジュールとの同期が可能(一部有料)
- 外部API公開
スケジュール機能のAPIを公開。他社サービスと連携可能



おかげさまで10周年



2022年9月、当社グループの海外展開（中国）を事業とする利墨（上海）商務信息咨询有限公司（リスクモンスターチャイナ）は、設立10周年を迎えました。

日頃より当社グループサービスをご利用頂いている会員様、またお取引先様に心より御礼申し上げます。

これからも皆様には変わらぬご愛顧を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 10周年記念セミナー開催

2022年10月26日、設立10周年を記念し、記念セミナーを開催いたしました。当日は、たくさんのお客様、取引先様にご参加いただきました。

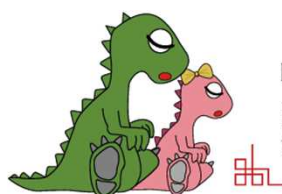
中国全体の経済状況から、与信管理、債権回収や法律、不動産鑑定、保険会社から見るリスク状況など、各業界の専門家にご登壇いただき、中国のリスク管理をする上で知っておきたい情報をお伝えし、多くのご参加者様に満足していただける内容となりました。



お客様、お取引先からの
お祝いコメント



セミナーの様子
会場開催だけでなくWEB配信も行いました。



Rismon China

利墨（上海） 商務信息咨询有限公司



取引先リスク管理Q&A(第2版)

2022年5月20日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、与信管理関連書籍「取引先リスク管理Q&A(第2版)」を出版いたしました。

「取引先リスク管理Q&A」は、リスモンが7,000超の法人会員様から日々頂いた「与信管理実務に関するご相談」を収集し、お問い合わせの頻度が高い順に掲載した与信管理の実務担当者のための手引書です。本書では、与信管理の手順や概念に沿って述べるのではなく、現場で必要とされる知識やノウハウから優先的に掲載しています。今回の改訂は、新たに「与信管理の仕組みを作ろう！」の章を追加したほか、昨今対策が求められる反社会的勢力との取引管理や電子契約、DX推進、AI化などの内容を盛り込みました。2020年4月に施行された民法改正にも対応し、与信管理の現場で問題や疑問が発生した際に、お役立ていただける内容となっています。



業種別審査ノートVol. 1(第3編)

2022年5月23日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、与信管理関連書籍「業種別審査ノートvol. 1(第3編)」を出版いたしました。

本書は、2018年に初版を発行した「業種別審査ノートVol.1」の第3編として発行するリスモンオリジナル書籍です。

会員様が与信管理の対象とされている業種の中から、社数が多い17業種に対して、与信審査のポイントとデータ分析の結果(業界レポート、業界天気図、業界別格付分析を組み合わせた形式)を掲載しております。



当社は、企業理念「プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう」に基づき、社内だけでなく業界全体の英知に貢献するために定期的に書籍を執筆し、発刊しています。与信管理の入門編から現場のプロが使える実用的なものまで取り揃えています。ご自身の興味関心に合わせてぜひお手に取ってみてください。

